

**株主メモ**

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金基準日	3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話：0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社全国本支店
事務手続き用紙の請求	配当金振込指定書用紙のほか、当社株式に関する事務手続き用紙(お届出の住所・印鑑・姓名などの変更届、単元未満株式買取請求書・買増請求書、名義書換請求書など)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にて、お電話ならびにインターネットにより、24時間承っておりますのでご利用ください。 電話：0120-244-479 (フリーダイヤル) インターネットホームページ： <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

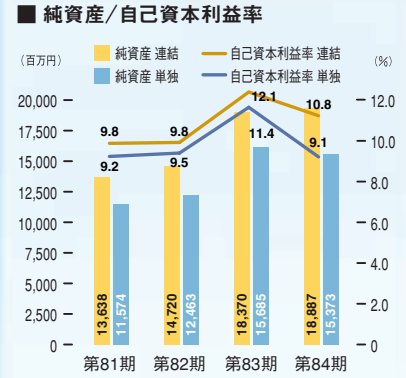
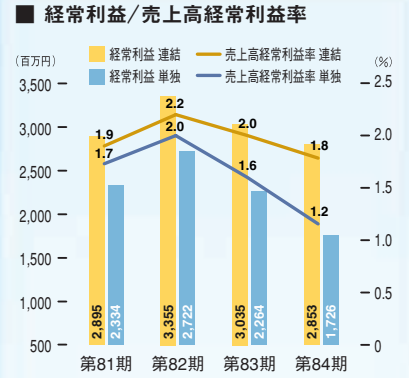
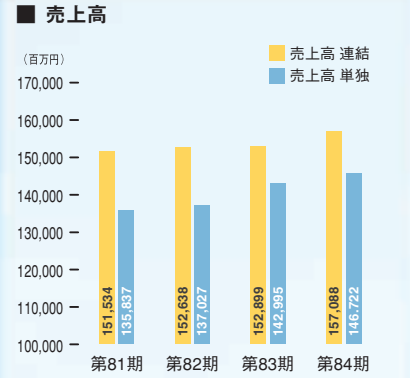

**第84期 報告書**

平成18年4月1日 ▶ 平成19年3月31日

# Business Report


 広がるおいしさ  
ひろげるキョクヨー


人間尊重を経営の基本に、  
健康で心豊かな生活と食文化に貢献し  
社会とともに成長することを目指します。



## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費に弱さが見られるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などにより景気は堅調に推移してきました。一方、水産・食品業界におきましては、魚食のグローバル化による国際的な買付競争の激化と同時に、国内における厳しい企業間競争の影響などにより、いわゆる「川上インフレ、川下デフレ」の状態から脱することができませんでした。また、食品の安心・安全に対する消費者の関心は一層高まっております。

このような状況のもとで、当社グループは消費者に安心・安全な食品の提供を心がけるとともに、事業基盤の強化と収益の確保を重視し、積極的かつ効率的な運営に努めました。

以上の結果、当社グループの売上高は1,570億88百万円(前期比2.7%増)、経常利益は28億53百万円(前期比6.0%減)となりました。なお、固定資産処分益などの特別利益を8億89百万円、特別損失を1億15百万円計上いたしました結果、当期純利益は20億円(前期比0.3%減)となりました。

当社は、株主に対する適切な利益還元を経営の重要な課題のひとつと位置付けており、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実と、利益還元のための安定配当の継続を基本方針としております。

当社は、本年9月をもちまして創立70周年を迎えます。これらひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。



代表取締役社長 福井 清計

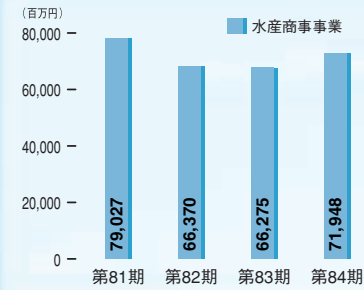
つきましては当期の期末配当を前期同様普通配当1株当たり5円に記念配当1円を加え6円といたしました。

当社は企業理念の実現のため、今後とも水産物を中心にこれに関連する周辺分野を視野に入れ、総合食品会社として成長発展することを目指すとともに、安心・安全な食品の供給と環境保全を経営の重点課題とし、また、内部統制システムを整備し企業倫理の徹底、法令の遵守、情報の共有化を進め、的確な情報開示による透明度の高い事業運営を行うことにより企業価値を高め、社会に貢献してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

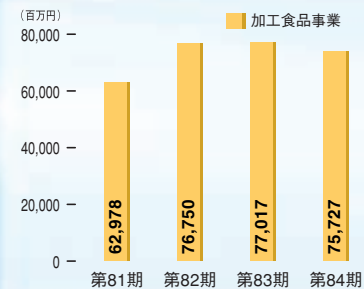
企業理念	1	連結財務諸表	7
株主の皆様へ	2	個別財務諸表	9
セグメント別の状況	3	会社データ	10
トピックス & ニュース	5		

## セグメント別の状況



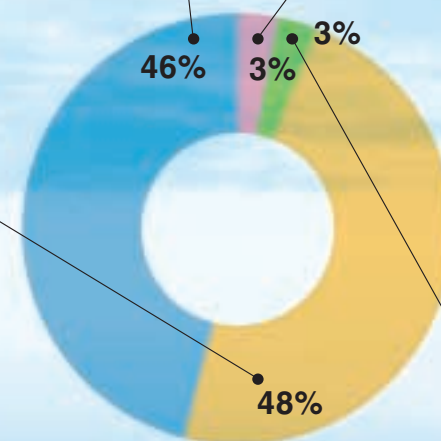
### ■ 水産商事事業

海外からの水産物の買付は、ほっけなどの北洋魚、助子などの魚卵、えびなどの取り扱いを増やすことができました。また中国における当社の現地法人(青島極洋貿易有限公司)を通じた中国向加工用原料の供給も売上増に寄与しました。しかしながら国際的な買付競争激化に伴う買付価格上昇により仕入れコストは上昇し、所期の目標には及びませんでした。この部門の売上高は719億円(前期比8.6%増)、営業利益は10億18百万円(前期比14.3%減)となりました。

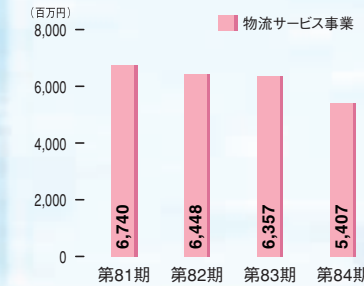


### ■ 加工食品事業

調理冷凍食品は水産フライ類や畜肉製品などを中心に拡販に努めましたが、企業間競争は依然厳しく売上高は前年並みにとどまりました。また全般的に加工用原料価格上昇の影響を受け所期の目標には及びませんでした。水産冷凍食品については、昨年8月に竣工したタイの合弁会社(K&U Enterprise Co.,Ltd.)の新工場が順調に稼働しており、同社で生産したえびなどの寿司種商材を拡販することができました。しかし、中国加工のさばなど南北凍魚の骨なし切身や国内加工のほたて製品は、日本近海及び沿岸魚の豊漁などで国内市況が下落した影響もあり、所期の目標には及びませんでした。常温食品は、厳しい販売競争のなか、さば、さんま缶など魚介缶の拡販に努めた結果、所期の目標を上回りました。この部門の売上高は757億円(前期比1.7%減)、営業利益は12億24百万円(前期比32.5%減)となりました。



第84期(平成19年3月期)売上高  
157,088百万円



### ■ 物流サービス事業

冷蔵倉庫事業は、事業の効率化・経費の削減に努めましたが、所期の目標には及びませんでした。冷蔵運搬船事業は、事業環境の変化に対応した船隊編成と採算を重視した配船を行うことにより、売上高は前期を下回りましたが利益は確保しました。この部門の売上高は54億円(前期比14.9%減)、営業利益は4億83百万円(前期比0.7%増)となりました。



### ■ 漁撈事業

海外まき網事業は、中西部太平洋及び東沖において、かつお・まぐろを対象とした操業を行いました。かつおの魚価が堅調に推移したことや、経費の削減に努めるなど事業の効率的な運営により、所期の目標を上回りました。この部門の売上高は38億円(前期比24.0%増)、営業利益は4億円(前期比321.7%増)となりました。



## K&U Enterprise社 新工場稼働

タイの合弁会社K&U Enterprise Co.,Ltd.の新工場が平成18年8月に竣工しました。同工場では、日本向けに寿司種商材を、欧米向けに冷凍寿司や寿司種商材を生産、順調に稼働しており、3年後をめどに年間4,000トン、50億円の販売を計画しています。新工場は敷地面積5,840平方メートル、延べ床面積17,904平方メートル、鉄骨4階建てで各フロアに生産ラインを置き、衛生的かつ効率的に生産できる能力を持っています。また、規模においてタイで最初の本格的な超低温冷蔵庫も併設、全自動ラックシステムによる効率的な物流機能も備えたまさに最新鋭の工場となっています。



工場外観



同工場で生産された冷凍寿司

## MSC (CoC) 認証取得について

当社はアラスカ産天然紅鮭の購入、加工、梱包とその販売において、国際的な第三者機関であるMSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会) が発行する「海の環境を保全しながら、天然海産物の持続的な利用を実現する資源・環境配慮型漁業で漁獲された水産物」の加工・流通過程に対するCoC認証(Chain of Custody)を平成18年10月に取得、一部量販店で同製品の販売を開始しました。



消費者は「MSC (CoC)」のロゴマークにより、それが環境に配慮した製品であることがわかる仕組みになっています。

キョクヨーグループは、今後とも、食品メーカーとして水産物資源の有効活用と安全で安心な食品の提供を心がけるとともに、地球環境への影響を常に配慮した事業活動を推進して循環型社会の実現に努めてまいります。



認証を受けた当社産紅鮭

## 2007年春の新製品の紹介

キョクヨーは2007年春の新製品として水産加工・水産冷凍食品7品、調理冷凍食品15品、常温食品5品を発売しました。主に業務用冷凍食品として、当社の関連会社である極洋水産(株)の海外まき網船「わかば丸」各船が漁獲した鮮度の良いかつおを荒きざんでマヨネーズ風味に仕立てた「漁師流! きざみかつお(マヨネーズ風味)」や蒸し調理ができる「Steam & Bake グラタン(えび(かぼちゃ)(コーン))」など、おいしさとお客様のニーズに応えた自信作をキョクヨーのラインナップに加えました。また市販用常温食品として、骨まで食べられる缶詰塩焼きシリーズ「さば塩焼き」「さんま塩焼き」「あじ塩焼き」「ほっけ塩焼き」の4品を発表しました。境港をはじめ国内で水揚げされたあじや北海道や三陸沖で水揚げされたさんまを原料とした「あじの塩焼き」「さんま塩焼き」など素材のよさを一層ご賞味いただける新しい缶詰です。



漁師流! きざみかつお(マヨネーズ風味)



Steam & Bake グラタン(えび)



あじ塩焼き

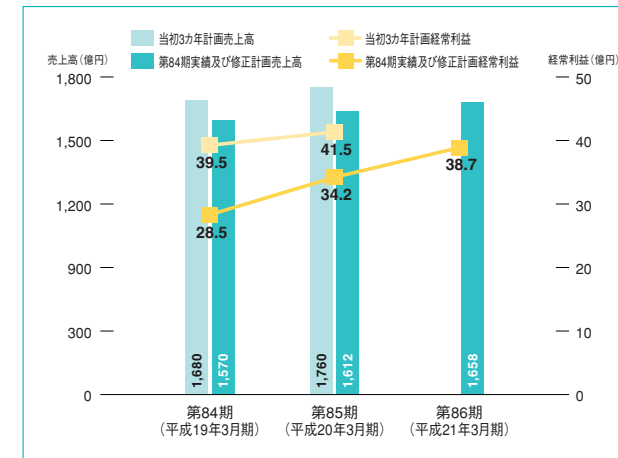


さんま塩焼き

## 新中期経営計画の見直しについて

当社グループは平成17年2月に平成20年3月期を最終年度とする『新中期経営計画』を策定しましたが、その後の世界的な水産物価格の上昇、原油価格の高騰など経営環境の大きな変化により、同計画と実績に大きな乖離が生じているため、当初計画の見直しを行い、下記のとおり修正いたしました。

### 【目標】(連結)



見直しに当たっては、グローバル戦略と加工戦略を一層推進することにより、収益力の回復を図ることを主たる目的とし、3年目(平成20年3月期:当社第85期)を修正し、新たに4年目(平成21年3月期:当社第86期)を加えた今後2年間の計画としました。

### 【重点施策】

#### 1. 海外事業の強化

特徴ある付加価値新商材の開発・拡販、海外買付拠点の充実による海外加工品の取り扱い増を図るとともに、海外輸出、三国間貿易など積極的な事業運営を行い売上の拡大と利益の安定化に努めてまいります。

#### 2. 寿司商材・生食商材の拡販

K&U Enterprise Co.,Ltd.の効率的稼働体制の維持を図るとともに、販売支社に寿司商材・生食商材販売の専属部署を設置し、拡販に努めてまいります。

#### 3. かつおまぐろ事業の強化

海外原料調達ルートの拡張、畜養事業への参画を目指し、安定的な供給体制の維持・拡大を図ります。

#### 4. 商品開発力の強化

外食、惣菜、量販店、コンビニ、病院給食や学校給食向けなど業態ごとの顧客ニーズに応えた商品開発を強化することで販路の拡大に努めてまいります。

#### 5. 在庫回転日数の短縮

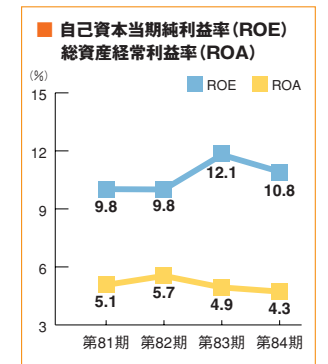
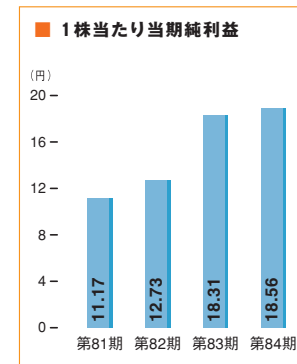
物流業務集約化・効率化の推進、在庫管理の強化により在庫回転日数の短縮を図ります。

## 連結決算

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在		平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>48,363</b>	<b>44,995</b>	<b>流動負債</b>	<b>41,926</b>	<b>39,002</b>
現金及び預金	3,141	3,089	支払手形及び買掛金	7,131	8,742
受取手形及び売掛金	19,733	17,887	短期借入金	28,805	24,963
たな卸資産	24,162	22,088	未払法人税等	725	697
繰延税金資産	502	759	賞与引当金	575	593
その他	889	1,261	繰延税金負債	39	—
貸倒引当金	△ 66	△ 91	その他	4,648	4,003
<b>固定資産</b>	<b>18,095</b>	<b>20,054</b>	<b>固定負債</b>	<b>5,644</b>	<b>7,569</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>9,209</b>	<b>8,774</b>	長期借入金	1,692	2,597
建物及び構築物	3,015	2,411	繰延税金負債	699	1,421
機械装置及び運搬具	1,355	668	退職給付引当金	1,604	1,612
船舶	2,422	2,892	特別修繕引当金	66	64
土地	2,212	2,556	役員退職慰労引当金	85	422
建設仮勘定	6	34	長期未払金	1,496	1,446
その他	196	211	連結調整勘定	—	4
<b>無形固定資産</b>	<b>449</b>	<b>445</b>	<b>負債合計</b>	<b>47,571</b>	<b>46,571</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,437</b>	<b>10,834</b>	<b>【少数株主持分】</b>		
投資有価証券	7,204	9,611	少数株主持分	—	106
繰延税金資産	588	586	<b>【資本の部】</b>		
その他	682	675	資本金	—	5,664
貸倒引当金	△ 37	△ 38	資本剰余金	—	743
<b>資産合計</b>	<b>66,459</b>	<b>65,049</b>	利益剰余金	—	8,712
			その他有価証券評価差額金	—	3,509
			為替換算調整勘定	—	8
			自己株式	—	△ 267
			<b>資本合計</b>	—	<b>18,370</b>
			<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	—	<b>65,049</b>
<b>【純資産の部】</b>			<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>16,340</b>	—	<b>株主資本</b>	<b>16,340</b>	—
資本金	5,664	—	資本金	5,664	—
資本剰余金	749	—	資本剰余金	749	—
利益剰余金	10,132	—	利益剰余金	10,132	—
自己株式	△206	—	自己株式	△206	—
<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,296</b>	—	<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,296</b>	—
その他有価証券評価差額金	2,266	—	その他有価証券評価差額金	2,266	—
繰延ヘッジ損益	7	—	繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	22	—	為替換算調整勘定	22	—
少数株主持分	250	—	少数株主持分	250	—
<b>純資産合計</b>	<b>18,887</b>	—	<b>純資産合計</b>	<b>18,887</b>	—
<b>負債純資産合計</b>	<b>66,459</b>	—	<b>負債純資産合計</b>	<b>66,459</b>	—

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	157,088	152,899
売上原価	139,842	135,913
<b>売上総利益</b>	<b>17,245</b>	<b>16,986</b>
販売費及び一般管理費	14,455	13,702
<b>営業利益</b>	<b>2,790</b>	<b>3,283</b>
営業外収益	528	245
受取利息	78	23
受取配当金	65	69
外国為替差益	168	18
その他の営業外収益	216	134
営業外費用	465	493
支払利息	453	474
その他の営業外費用	11	18
<b>経常利益</b>	<b>2,853</b>	<b>3,035</b>
特別利益	889	36
特別損失	115	70
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,627</b>	<b>3,000</b>
法人税、住民税及び事業税	1,228	1,393
法人税等調整額	356	△ 397
少数株主利益 (△損失)	42	△ 2
<b>当期純利益</b>	<b>2,000</b>	<b>2,007</b>

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,816	1,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 662	△ 1,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,514	265
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	25
現金及び現金同等物の増減額	60	303
現金及び現金同等物の期首残高	3,029	2,725
現金及び現金同等物の期末残高	3,090	3,029



科 目	当連結会計年度 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)								少数株主持分	純資産合計	
	株主資本				評価・換算差額等						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰越ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	5,664	743	8,712	△267	14,852	3,509	—	8	3,518	106	18,477
<b>連結会計年度中の変動額</b>											
剰余金の配当			△538		△538						△538
役員賞与金			△42		△42						△42
当期純利益			2,000		2,000						2,000
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		6		62	68						68
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						△1,242	7	14	△1,221	143	△1,077
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	—	6	1,419	61	1,487	△1,242	7	14	△1,221	143	409
平成19年3月31日残高	5,664	749	10,132	△206	16,340	2,266	7	22	2,296	250	18,887

# 個別財務諸表

## 単独決算

科 目	当期	前期
	平成19年3月31日現在	平成18年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	42,632	40,110
固定資産	13,206	15,917
有形固定資産	2,996	3,413
無形固定資産	427	419
投資その他の資産	9,783	12,084
資産合計	55,839	56,027
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	37,741	35,456
固定負債	2,724	4,885
負債合計	40,466	40,341
<b>【資本の部】</b>		
資本金	—	5,664
資本剰余金	—	743
利益剰余金	—	6,257
その他有価証券評価差額金	—	3,288
自己株式	—	△267
資本合計	—	15,685
負債資本合計	—	56,027
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	13,316	—
資本金	5,664	—
資本剰余金	749	—
利益剰余金	7,108	—
自己株式	△206	—
評価・換算差額等	2,056	—
その他有価証券評価差額金	2,049	—
繰延ヘッジ損益	7	—
純資産合計	15,373	—
負債純資産合計	55,839	—

科 目	当期	前期
	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	146,722	142,995
売上原価	131,975	128,082
売上総利益	14,747	14,912
販売費及び一般管理費	13,138	12,611
営業利益	1,608	2,301
営業外収益	448	346
受取利息	44	39
受取配当金	283	210
外国為替差益	36	32
雑収入	83	64
営業外費用	331	383
支払利息	324	371
雑支出	7	11
経常利益	1,726	2,264
特別利益	867	23
特別損失	97	62
税引前当期純利益	2,496	2,225
法人税、住民税及び事業税	705	1,001
法人税等調整額	372	△386
当期純利益	1,419	1,611
前期繰越利益	—	2,412
当期末処分利益	—	4,023

科 目	資本金	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
		資本剰余金		利益剰余金			繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計			その他有価証券評価差額金			
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金	繰越利益剰余金								
平成18年3月31日残高	5,664	742	0	743	673	1,560	4,023	6,257	△267	12,397	3,288	—	3,288	15,685
当事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△538	△538	—	△538	—	—	—	△538
役員賞与金	—	—	—	—	—	—	△30	△30	—	△30	—	—	—	△30
当期純利益	—	—	—	—	—	—	1,419	1,419	—	1,419	—	—	—	1,419
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△0	△0	—	—	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	6	6	—	—	—	62	68	—	—	—	68
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,239	7	△1,231	△1,231
当事業年度中の変動額合計	—	—	6	6	—	—	851	851	61	919	△1,239	7	△1,231	△312
平成19年3月31日残高	5,664	742	7	749	673	1,560	4,874	7,108	△206	13,316	2,049	7	2,056	15,373

## 会社概要 平成19年3月31日現在

社名	株式会社 極洋
英文社名	KYOKUYO CO., LTD.
本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号
設立	昭和12年9月3日
資本金	56億6千4百万円
主要な事業内容	水産物の輸出入・国内買付販売、加工食品及び冷凍食品の製造販売
従業員数	2,791名(連結) 514名(単独)
連結対象会社数	13社
役員 (平成19年6月28日現在)	代表取締役社長 福井清計 専務取締役 石川泰久 専務取締役 多田久樹 常務取締役 門田憲一 常務取締役 久保光太郎 取締役 田村元雄 取締役 須藤時廣 取締役 村上吉男 取締役 荒砥賢誠 取締役 今井賢司 常勤監査役 菊田高稔 常勤監査役 細川高稔 監査役 伊東毅 監査役 向山洋治

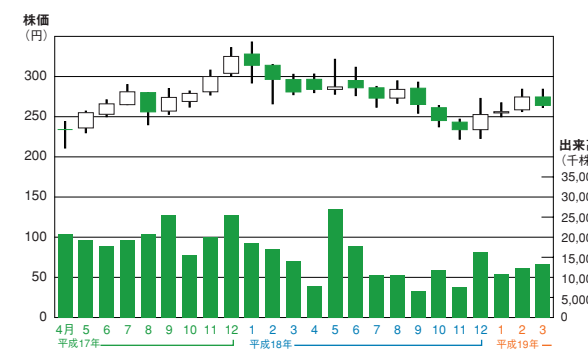
## 株式の概況 平成19年3月31日現在

発行可能株式総数	437,000,000株
発行済株式の総数	109,282,837株
株主数	13,310名

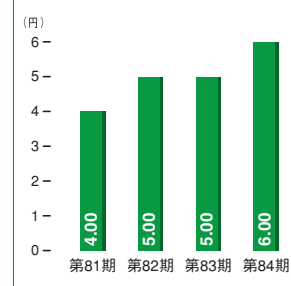
## ●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三井住友海上火災保険(株)	6,201	5.67
(株)りそな銀行	5,234	4.78
農林中央金庫	4,450	4.07
日興シティ信託銀行(株)	3,431	3.13
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	3,244	2.96
東洋製罐(株)	3,150	2.88
日本マスタートラスト信託銀行(株)	2,247	2.05
東京海上日動火災保険(株)	2,245	2.05
三菱UFJ信託銀行(株)	1,918	1.75
極洋秋津会	1,454	1.33

## 株価及び出来高の推移



## ■株主配当金



## ■所有者別株式数分布状況

